

令和4年9月

北西大西洋漁業機関（^ナ^フ^ォNAFO）「年次会合」の結果について

1 北西大西洋漁業機関

北西大西洋における底魚等の資源管理を行う国際機関。
メンバーは、日本、カナダ、EU、米国等13ヶ国・地域。

2 日時・場所

9月19日（月）から23日（金）まで、ポルト（ポルトガル）で開催
（対面及びウェブ形式の併催）。

3 我が国出席者

野村農林水産省顧問（我が国代表）ほか、水産庁、外務省、国立研究
開発法人水産研究・教育機構及び業界からの関係者が参加。

4 結果

(1) 令和5年（2023年）の資源管理措置

令和4年（2022年）と同等の漁獲割当を確保。

（カラスガレイ：1,155トン（令和4年（2022年）は1,205トン）
アカウオ：550トン（令和4年（2022年）と同量）

(2) 事務局長選挙

アイスランドの候補者が新事務局長に選出。任期は令和5年（2023
年）1月から4年間。

(3) 次回会合

令和5年（2023年）9月にスペインで開催予定。

[参考] 我が国主要魚種の漁獲割当（トン）

魚種	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
カラスガレイ	1,253	1,255	1,286	1,253	1,205	1,155
アカウオ	550	550	550	550	550	550